

# ごあいさつ



## 「復興の槌音が聞こえる

～一歩ずつ前へ～

国土交通省東北地方整備局長

徳山 日出男

未曾有の大震災発生から一年となりました。東日本大震災は、大きな地震であったばかりか、大津波により太平洋沿岸部に壊滅的な被害を及ぼし、多くの国民の生命と財産が失われました。改めて心からお見舞いを申し上げます。

この激甚な被害に対して、発生直後から沿岸部への救援ルート確保のための道路啓開、あるいは航路の啓開作業、排水作業、救援に向けた燃料・物資の確保などを行いました。さらには、リエゾンを派遣し情報収集提供や被災自治体の支援、緊急復旧作業にも取り組んでまいりました。自ら被災したにもかかわらず活動して頂きました岩手県建設業協会の皆様をはじめ建設業界の方々のご協力により、迅速な対応をとることができました。心からお礼を申し上げます。

東北地方整備局といたしましても、被災地の復旧・復興に向けた支援や地域経済の活性化に向けて積極的に取り組んでいるところです。

東北地方においては、復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路などの「復興道路」に着工しており、河川・海岸堤防においても復旧工事に着手しております。また、岩手県沿岸の各港湾においては「産業・物流復興プラン」を踏まえた本復旧を進め、港湾の物流機能の回復に努めておりますが、地方部の厳しい実情を踏まえ、道路のネットワークの構築、港湾の整備等により地域格差を縮小し、被災地の復旧・復興はもとより、東北全体の経済回復を支援するための社会資本整備を推進する必要があります。

また、地震や津波、頻繁に発生する豪雨・災害等への対応など、防災対策を推進し国土の保全を図るとともに大震災での経験と教訓を生かし、的確・迅速な情報収集・提供体制の整備や各機関との連携体制の強化が重要です。

建設産業は、地域にとって大きな産業であり、大震災への対応により頼りになる存在だと再認識され、文化や生活など地域を維持する役割は益々大きくなっています。環境技術や品質確保など公共工事を進める上でのレベルアップが重要であり、技術力に優れ、災害時やボランティアなど地域の安全安心等に貢献している健全な企業が、持続的に発展できるような環境の整備に取り組んでまいります。

災害に強い国土づくりを推進するとともに、地域の皆様をはじめ関係機関との連携や対話を重ねながら、効率的・重点的に事業を展開し、東北地方の復興に向けて一歩ずつ前へと進め、「豊かで安心して暮らせる東北」を目指してまいります。

復興特需などとの報道もありますが、被災地においては、今なお避難生活を余儀なくされている方々が大量にいらっしゃいます。岩手県建設業協会の皆様におかれましても、真摯に取り組まれ、迅速かつ円滑な復旧復興へのご支援ご協力をお願いするとともに、東北地方の発展や地域づくりに貢献されることをご祈念申し上げます。